

河川生態学術研究会千曲川研究グループ

研究発表会

Chikuma River Ecology Research Group Presentation

平成 16 年より発足した千曲川河川生態学術研究会では、千曲川河川事務所と協働し、河道掘削による人為的インパクトが河川生態系に与える影響について調査・研究を行ってきました。平成 20 年からは、これまでの研究テーマに加えて、新たに河川中流域における生物の分布特性や生物体量（バイオマス）の実態を明らかにする調査、近年問題となっているアレチウリの分布拡大のメカニズムやその防除対策などについての調査・研究を行って参りました。河川工学、水文学、陸水学、動物学、植物学などの専門家が 4 年間にわたって千曲川中流域をフィールドにモニタリングを進めて参りました。

これらの取り組みの概要とその成果について、地域の方々をはじめとする多くの皆様に広く紹介するため、研究発表会を開催いたします。少しでもご興味を持たれましたら、是非ご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月

河川生態学術研究会千曲川研究グループ代表
信州大学教授 平林 公男

記

主 催：河川生態学術研究会千曲川研究グループ
国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所
開催日時：平成 25 年 9 月 6 日(金) 13:00～16:30
開催場所：長野市若里市民文化ホール 2 階 会議室 1・2・3
参加費：無 料（先着 100 名）
お問合せ：(公財)リバーフロント研究所
〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-24 新川中央ビル 7 階
TEL:03-6228-3863 FAX:03-3523-0640 担当：西嶋・阿部

【会場のご案内】

若里市民文化ホール

〒380-0928 長野市若里 3 丁目 22 番 2 号

TEL:026-223-2223

※ バスでお越しの方

長野駅東口(1 番のりば)

～保科温泉線「ビッグハット」下車徒歩 1 分

路線番号:14 番

※ タクシー 長野駅東口から 10 分

※ 駐車場がございますが台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。



研究発表会プログラム

開会挨拶	国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所長 宮武一郎
発表会趣旨説明	信州大学繊維学部応用生物学系生物資源・環境科学課程教授 平林公男
研究発表【各 15 分】	
1. 「千曲川中流域自然再生事業について」	国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所建設専門官 浮田博文
2. 「千曲川の河川特性について」	信州大学工学部土木工学科助教 豊田政史
3. 「千曲川中流域における水質と基礎生産」	信州大学理学部物質循環学科生態システム解析講座教授 戸田任重
4. 「千曲川における水生昆虫の流程分布と遺伝的構造」	信州大学理学部生物科学科進化生物学講座准教授 東城幸治
5. 「千曲川中流域における魚類の現存量」	信州大学名誉教授 中村浩志
6. 「河畔の掘削で植物はどう変わるのか」	信州大学理学部物質循環課生態システム解析講座准教授 島野光司
7. 「特定外来生物アレチウリの防除にむけて -河道掘削によるアレチウリの生育抑制-」	独立行政法人土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム主任研究員 傳田正利
8. 「河道掘削が鳥類へ与える影響」	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室共同研究員 笠原里恵
総合討論「千曲川中流域の生物特性と河川管理」	独立行政法人土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム上席研究員 萱場祐一 信州大学名誉教授 中村浩志 信州大学繊維学部応用生物学系生物資源・環境科学課程教授 平林公男 国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所副所長 山田幸男

参加申し込み（下記にご記入の上、FAXか同等内容のEメールにて受け付けます）

FAXあて先：03-3523-0640 / (公財) リバーフロント研究所 河川・海岸グループ 西嶋

Eメールあて先：nishijima@rfc.or.jp

申し込み締切：平成 25 年 8 月 30 日（金）

(ふりがな) 氏名	勤務先/所属
連絡先	勤務先/所属・ご自宅（いずれかに○） (〒 _____) 住所 _____ TEL: _____ FAX: _____ Eメール: _____
備考	

<個人情報の取り扱いに関して>

参加申込書に記載いただいた情報については、今後、当研究所が行う各種講演会、セミナー等の開催をお知らせする際に使用させていただく場合がございます。(公財)リバーフロント研究所からの情報提供を拒否される場合は、お手数ですがその旨を備考欄にご記入くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。